

「義に飢え渴く人々は幸い」(2026. 1. 18)

わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり、

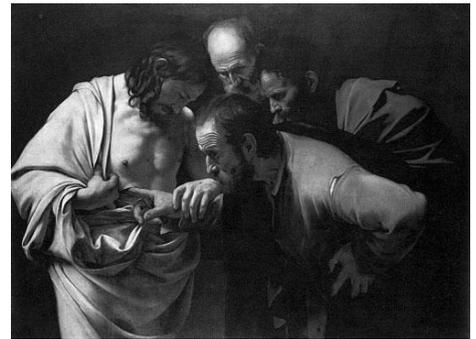
わたしの道はあなたたちの道と異なると、主は言われる。

天が地を高く超えているように、わたしの道は、あなたたちの道を

わたしの思いはあなたたちの思いを、高く超えている。(イザヤ 55 : 8-9)

東日本大震災の津波が襲う様子を写したビデオがあります。多くの人が波に飲まれ、人生を中断されたのです。神も仏もあるものか！という声が入っています。確かに人生には不条理なことが多くあり、その叫びに共感さえ覚えます。しかし、立ち止まって考えたい。だからといって短絡的に愛の神はいない、正しく裁く神がいないと決めつけるならば、人生、中断のまま、それこそ不条理は不条理のままで終わるということです。無神論という信仰は、有効でないばかりか、人々を絶望に導きます。

最近、私は山上の説教の1節を喜び口ずさんでいます。それはマタイ5:6です。「義に飢え渴く人々は幸いである。その人たちは満たされる。」ああ、これはイエス様の使命を証したみ言葉だ、と悟りました。私達は自分の罪・過ちに悩み、また他の人の不義・不正にも悩みます。でも、イエス様は私にも他の人にも赦しを与え、義の衣を着せて下さるのです。義に飢え渴く者を満たしてくれるのです。正しく裁いて平和を与え、不義がそのまま放置されることはないのです。



上掲のように神は預言者イザヤを通して語られます。「わたし道は、わたしの思いは・・・高く超えている」と。不条理は不条理のままでは終わらない、かならず正しい裁きがある、ということです。そのことを明らかにしたのが、イエス・キリストの死と復活です。何の罪・過ちのないキリストが、十字架という極刑にされたのです。世界一不条理な事件です。しかし、神はキリストを陰府に捨て置かれませんが、復活させられたのです。不条理は不条理のままでは終わらない。正しく裁くお方がおられるという宣言です。

先日「なっちゃん」が召されました。主はその目の涙をぬぐい取り、苦労に倍する慰めを与えてくださっていると私は信じます。また、教会の将来についても主に望みを置きたい。主は真実なお方です。失望に終わることはないのです。